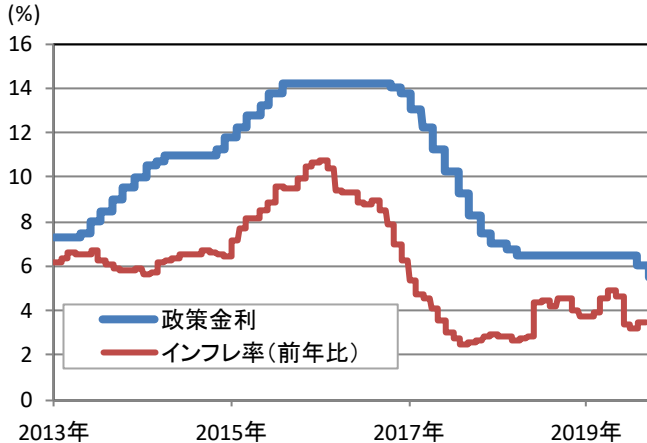


ブラジルの政策金利の引き下げについて

2019年9月18日（現地時間）、ブラジル中央銀行は、COPOM（金融政策委員会）において、Selic（政策金利）を0.5%引き下げ、年率5.5%とすることを決定しました。

9月にECB（欧州中央銀行）は3年半ぶりに金融緩和に踏み切り、FOMC（米連邦公開市場委員会）はフェデラルファンド金利の誘導目標レンジを0.25ポイント引き下げました。世界的に政策金利が低下するなか、ブラジル中央銀行も前回の7月会合に続く利下げに踏み切りました。世界経済の見通しは景気の減速とインフレが目標を下回る状況を背景に不透明感があり、景気減速のリスクが存続するとのシナリオを示しました。

ブラジルの政策金利とインフレ率の推移
 (2013年1月1日～2019年9月18日)



ブラジルの政策金利と変化幅

日付	政策金利 (%)	変化幅 (%)
2017年12月6日	7.00	-0.50
2018年2月7日	6.75	-0.25
2018年3月21日	6.50	-0.25
2019年7月31日	6.00	-0.50
2019年9月18日	5.50	-0.50

* 政策金利: Selic を使用。

* 出所: ブラジル中央銀行、ブルームバーグのデータよりBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料はBNPパリバ・アセットマネジメント株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。